

岡山芸術交流 2025 作品制作のため 約 3,000 株のタンポポを空き地に移植します

メキシコを拠点とする国際的に著名な女性建築家フリーダ・エスコバド氏の作品制作のため、春に種を蒔いて育ててきた約3,000株のタンポポを出石町空き地に移植します。

1 日時

令和7年9月17日(水) 8時頃～14時頃(予定)

2 場所

出石町空き地(北区出石町一丁目 2-113)

3 内容

現在、アスファルトを直径約10mの形に掘削して土を入れている状態です。当日は別の場所で育ててきた約3,000株のタンポポを、1日かけて作業員約5名で移植していきます。

※当日、フリーダ・エスコバド氏は現場にいません。

4 取材

取材を希望される方は、9月16日(火)17時までに、社名・来訪予定人数を、お電話でお知らせください。フリーダ・エスコバド氏のプロフィール等、詳細は別紙をご覧ください。

5 備考

岡山芸術交流は岡山城・岡山後楽園周辺の歴史・文化施設等を会場に、2016年から3年に1度開催している国際現代美術展です。

Artistic Director : フィリップ・パレーノ / Philippe Parreno

展覧会タイトル : 青豆の公園 / The Parks of Aomame

参加ゲスト : 11か国・30組

会期 : 2025年9月26日(金) ~ 11月24日(月)

WEB : <https://www.okayamaartsummit.jp/2025/>



Web



Instagram

【問い合わせ先】

文化振興課 藤野 矢吹 直通086-221-0033



別紙

フリーダ・エスコベド | Frida Escobedo (1979年、メキシコ)

フリーダ・エスコベドは 2006 年にメキシコシティに自身の名を冠した建築事務所を設立。母国で一連のコンペ受賞プロジェクトを強みに築かれたこの事務所は、2018 年、ロンドンのケンジントン・ガーデンズで毎年開催されるサーペンタイン・パビリオンの設計という名誉ある指名を受けて以来、その評判が世界的な広がりを見せている。建築物や実験的な保存プロジェクトから、一時的なインスタレーションや公共彫刻、オブジェ、出版物、展覧会のデザインに至るまで、エスコベドは多岐にわたるスケールや表現手段で活動し、伝統的な分野の境界線を越えている。2021 年、ニューヨークのメトロポリタン美術館の新しい近現代アートウィングを設計する建築家に任命され、同美術館の建物を設計した最年少かつ初の女性建築家となった。また、エスコベドの事務所は、ポンピドゥー・センター2030年の改修を率いるモロークスノキ建築設計のアソシエイト・デザイナーに選ばれている。エスコベドは建築家として数々の荣誉に浴しており、実務に加え、アメリカ名門大学の大学院で教鞭も執っている。



© Rafael Gamo



© César Béjar

(岡山芸術交流 2025 実施計画より抜粋)